

自転車国内販売動向調査月報ダイジェスト(平成24年2月)

当協会では、毎月全国100の標準自転車小売店を対象に、自転車の販売に関するアンケート調査を実施し、「自転車販売動向調査月報」としてとりまとめ発表しております。

平成24年2月の調査がまとまりましたのでその概況をお知らせします。なお詳しくは月報をご参照ください。

◎調査店1店当たりの販売台数

本月の1店当たりの新車販売は13.6台で、前年同月に比べ1.1台減の92.5%である。車種別の前年同月比では上回った車種は電動アシスト車で110.0%、横ばいが折りたたみ車で、シティ車96.5%、ホーム車92.2%、子供車83.3%、幼児車66.7%、マウンテンバイク60.0%、スポーツ車92.3%と下回った。また前月比ではマウンテンバイク、スポーツ車以外は上回っている。

中古車は前年同月比が下回り、前月比は横ばいである。

◎自店や他店の動向など調査店から寄せられたコメント

各店舗から寄せられるコメントは、「記憶にないほど1月に続き2月も寒い日が多かった。自転車の商売は天候の所為にしてもよいとつくづく感じた」(千葉)、「今年に入ってから例年以上に自転車売上げが下がっている。修理も悪い時が多い」(京都)など、販売に関してはよくないようだ。

しかし、「震災後ガランとしていた店内だが、何とか春には自転車店らしくしたいと思い仕入れの台数を集めてみた。あとはレイアウトを考え、お客様の来店を待とう」(宮城)、「毎年この時期になると大量に仕入れたこの商品は売れるのだろうか心配になるが、昨年の大震災を経験し売ろう売ろうという考え方が少し変わった。お客様に必要とされるような商売をしなければいけない、一喜一憂せずがんばろうと思う」(茨城)、「先月から出張修理のポストインをやっているが、すぐには効果はない。ひまな時期を利用し地道にやっっていこうと思う。3月になり、新入学で上向きになることを期待している」(福岡)など、悪い状況が続いたが季節が変わり前向きになり、春需に期待するコメントが多かった。

調査店1店当たりの販売台数(総合)

[全国9地域 店舗：100]

(平成24年2月)

[単位：台 構成比：%]

車種別	本月		前月		前月比	前年同月		前年同月比
	台数	構成比	台数	構成比		台数	構成比	
シティ車	5.5	37.7	2.8	24.1	196.4	5.7	35.6	96.5
ホーム車	4.7	32.2	4.4	37.9	106.8	5.1	31.9	92.2
折りたたみ車	0.3	2.1	0.2	1.7	150.0	0.3	1.9	100.0
子供車	0.5	3.4	0.4	3.4	125.0	0.6	3.8	83.3
幼児車	0.2	1.4	0.2	1.7	100.0	0.3	1.9	66.7
マウンテンバイク	0.3	2.1	0.4	3.4	75.0	0.5	3.1	60.0
スポーツ車	1.2	8.2	1.3	11.2	92.3	1.3	8.1	92.3
電動アシスト車	1.1	7.5	0.9	7.8	122.2	1.0	6.3	110.0
合計	13.6	93.2	10.6	91.4	128.3	14.7	91.9	92.5
中古車	1.0	6.8	1.0	8.6	100.0	1.3	8.1	76.9
総合計	14.6	100.0	11.6	100.0	125.9	16.0	100.0	91.3
モーターバイク	0.5	3.4	0.3	2.6	166.7	0.4	2.4	125.0

注：モーターバイクにおける構成比欄の数字は本月販売台数総合計に対する比率である。

次回3月の販売動向調査結果は5月初旬にHP掲載の予定。

財団法人 自転車産業振興協会